

## 福島第一原子力発電所の廃炉の取組みについて 3 回目となる 海外メディア向けプレスブリーフィングを行いました

当社は、2023年7月21日、多核種除去設備等処理水（ALPS 処理水）の取扱いに関する取組みをご説明する会見を、現地・福島第一原子力発電所とオンラインのハイブリッド形式で行いました。

会見には、現地・オンラインを合わせ、アジア、欧米、太平洋諸国、南米など 12 の国や地域から、41 社・44 名の海外メディアおよび、国内メディアの国際部門の関係者、9ヶ国・10 名の大使館関係者にご参加いただき、松本 純一（執行役員 福島第一廃炉推進カンパニープロジェクトマネジメント室長兼 ALPS 処理水対策責任者）から、ALPS 処理水の海洋放出に関連する設備についてご説明し、事前に寄せられた質問や会見の場で挙げられた質問に回答しました。

当社は、地域の皆さまや作業員の方々、周辺環境の安全確保を最優先に、福島第一原子力発電所の放射性物質によるリスクを低減させる廃炉作業を計画的に進めるとともに、今後も科学的根拠に基づく情報を、国内外へ透明性高く発信してまいります。

### ◆ 説明内容

#### 1. ALPS 処理水希釈放出設備および関連施設の概要について

- ・ALPS 処理水の海洋放出に関連する設備について
- ・IAEA による包括報告書の概要 など



会見の様子



質問に回答する担当者（中央）

### ◆ 主な質問

**【質問】 海洋放出される ALPS 処理水の安全性は、どのように示されますか。その安全性は、事故を起していない一般の原子炉から排出されている水と比較できるのですか。**

**【回答】** ALPS 処理水における放射性物質の濃度の測定・追加確認では、国の規制基準、県の条例等に合致しているかどうかについて確認項目となっており、東京電力の測定に加えて、東京電力から依頼をした化研という企業と、国から依頼した機関である JAEA の 3 つの機関によるの確認がおこなわれています。また、今年 5 月に IAEA にて公開された、東京電力の分析能力と品質の確保の状況についての報告書では、これらの取組は正確に行われていると評価をいただいています。なお、他の施設との比較に関して、国内外共に、原子力施設からの放射性物質の排出については、それぞれの国の基準に従って行われております。福島第一からの ALPS 処理水の排出も同様に、国の規制基準を満足していることを確認しており、引き続きこ

れに従って進めてまいります。

**【質問】 第三者による ALPS 処理水の分析について、国際原子力機関（IAEA）以外の機関の確認は受けないのですか。**

**【回答】** IAEA は原子力安全や放射線防護に関する専門的知見を有する、権威ある国際機関であると認識しています。従って、IAEA が実施する裏付け分析を通して、東京電力の分析結果が正確であることを確認いただくことが最も適切であると考えています。この裏付け分析には、IAEA の自身の研究所のほか、韓国、フランス、スイス、アメリカの研究所にも分析いただいております。第三者性は確保できているものと考えております。

**【質問】 「基準を満たすまで何回でも ALPS を通す」とのことですが、ALPS の浄化能力を教えてください。**

**【回答】** 国の規制基準を満たすまで何回でも処理を行うのが原則ですが、現在の ALPS の浄化能力は 1 回で国の規制基準を満足する能力を持っています。その性能については、毎年行う性能の検査と毎週実施している核種を限定しての性能検査により確認しています。なお 2019 年には、処理途上水 2000 立方メートルについて二次処理性能試験を実施し、原子力規制委員会に浄化できていることを確認していただいております。

以上

#### 動画・資料 URL

<会見動画>

[https://www.tepco.co.jp/library/movie/detail-j.html?catid=61697&video\\_uuid=15012](https://www.tepco.co.jp/library/movie/detail-j.html?catid=61697&video_uuid=15012)

<日本語版資料>

<https://www.tepco.co.jp/decommission/progress/watertreatment/images/230721j.pdf>

<英語版資料>

<https://www.tepco.co.jp/decommission/progress/watertreatment/images/230721e.pdf>